
【カタルシス】

サトヤレンリ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

【カタルシス】

【Nコード】

N0200P

【作者名】

サトヤレンリ

【あらすじ】

それほど遠くない未来。平和を捨てて撰んだモノ。

そうして少年は

生きる意味を模索する

寒い。待機中のこの時間が嫌いだ。 unnecessary 考えが頭を廻る。

『45番』

『ハイ』

『準備が整いました。起動して下さい』

『了解。45番、起動します』

今日も無駄に暑い。夏なんて無くせば良かったのに。

「ヒロム、放課後カラオケ行かないか？」

「あー無理。用がある」

「マジ？女子にヒロムも来るって言っちゃった」

「何、勝手に決めてんだよ」

「だって、ヒロムいないと女子が集まんねーもん。だから来いよ、な？」

「ダシに使うな、アホ」

外は校舎内よりも、もっと暑い。これで本当にシールドが掛かって
んのかね、地球。

雲一つない理想的な夏空。

人間が作り上げた『地球』と言う惑星。

平和と言う気怠い日常。毎日が意味なく過ぎていた。

『お疲れ様です。本日の訓練は終了しました』

『了解。45番、帰還します』

「ヒーロム、食事、行こー」

「アキヒ、まだ食べてなかったのか？」

「うん、待ってた」

宇宙食なんてもっと不味そうなのを想像してた。予想外の旨さだよな。地球での食事となんら代わらないし、寧ろバランスが計算されている分、健康的だ。

「今日、泊まって良い？」

「今日も、だろ」

「そうだったけ？」

2
×
×
×
年。

国際科学機関はシールドによる地球保護に成功。産業を維持したままの策はあらゆる問題を解決した。以後、数十年に渡り、地球は平和に時を進める。

「タバコって昔は健康被害があつたらしいよ」

「へえー」

「それでも需要があつたんだから昔の人は怖いもの知らずだよね」

「…それは平和を捨てたオレらの方だろ？」

「…まあ、それも言えてるね」

歴史的建造物保護の観点から何百年もの間、世界の町並みは現状を維持された。歴史の教科書を見てもある年代からは今となんら変わらない風景が昔の町並みとして載っている。昔の人達が想像した便利な未来と云う図には車が空を飛んでいた。それはさながら機械が支配した世界だ。

『E地点1・5目標を確認しました。45番、始動しますか?』

『了解しました。射程圏内に入り次第、狙撃して下さい』

宇宙から眺める地球はただ蒼いだけの星。
綺麗だとかの感情はあまり湧かない。

『ヒロム』

『ん?』

『オマエは何を想う?』

人は退屈を怖れた。

『この宇宙で何を想う？』

平和であること恐れた。

死が近いものになった

そして少年は

『 生きている』

と云う実感を得た

『オマエは何を想う？』

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0200p/>

【カタルシス】

2011年10月8日07時58分発行